|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **登 園 届 （保護者記入）**　第３きんもくせい　保育所施設長殿入所児童名　　　　　　　　　　　　　　　　年　　　 月　　　 日 　生（病名） （該当疾患に☑をお願いします）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 病名 | 感染しやすい時期 | 登園のめやす |
|  | 溶連菌感染症 | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後１日間 | 抗菌薬内服後24～48時間が経過していること |
|  | マイコプラズマ肺炎 | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間 | 発熱や激しい咳が治まっていること |
|  | 手足口病 | 手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間 | 発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること |
|  | 伝染性紅斑（りんご病） | 発しん出現前の１週間 | 全身状態が良いこと |
|  | ウイルス性胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等） | 症状のある間と、症状消失後１週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要） | 嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること |
|  | ヘルパンギーナ | 急性期の数日間（便の中に１か月程度ウイルスを排出しているので注意が必要） | 発熱や口腔内の水疱 ほう・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること |
|  | ＲＳウイルス感染症 | 呼吸器症状のある間 | 呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと |
|  | 帯状疱しん | 水疱を形成している間 | すべての発しんが痂皮（かさぶ た）化していること |
|  | 突発性発しん | － | 解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと |
|  |  |  |  |

（医療機関名）　　　　　　　　　　　　　　　　　 （　　 年 　　月 　　日受診）において病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので 　　年 　　月　　　日より登園いたします。年 　　　月　　　 日保護者名

|  |
| --- |
| ※保護者の皆さまへ保育所は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、上記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけ医の診断に従い、登園届の記入及び提出をお願いします。保育園では基本お薬のお預かりはしていません。特別な場合（熱性けいれん予防の座薬やアレルギー症状緩和の際の薬等）のみお預かりしております。その際は、医師が記入する投薬指示書が必要となりますのでお知らせください。 |

 |